

展示
イベント



夜の紙博 ―光る森と虹色の羊―

昼の部: 11月7日(土)~15日(日) 9:00~17:00

夜の部: 11月13日(金)~15日(日) 17:00~20:30

昼は和紙の美しさを、夜は光が織りなす幻想的な世界を楽しむ二部構成の展示です。
「光る森と虹色の羊」の物語を舞台に、絵本の中を歩くような体験をお届けします。



常設展示コーナー

和紙の原料や実際に使用された手漉きの道具をはじめ、吉井源太にまつわる歴史的収蔵物などを展示しており、和紙の歴史や製法を学ぶことができます。



紙すき体験コーナー

実際に使われている原料や道具を使って和紙をすくことができ、体験を通して和紙への理解も深めていただけます。



販売コーナー

美術・書・版画などの和紙やハンドメイド向きの和紙、典具帖紙などの幅広い種類の和紙を販売。和紙雑貨などお土産や記念にも。

利用案内

会場 いの町紙の博物館 (高知県吾川郡いの町幸町110-1 / Tel. 088-893-0886)

開館時間 9:00~17:00

休館日 9/24・28 10/5・13・19・26

入場料 一般 800円 (団体 700円)
小・中・高校生 100円 (団体 80円)
65歳以上 550円 (年齢を証明できるもの持参)

※一般は入館料と観覧料を合わせて上記の金額 / 小・中・高校生は入館料のみで観覧可となり上記の金額
※各種割引・減免制度あり
※身体障害者手帳(1・2級)等持参で減免あり
※団体割引は10名様以上
※いの町紙の博物館年間観覧券所持者300円



チケット

【前売券】一般 700円
【販売所】いの町紙の博物館

アクセス

●JR……JR土讃線「伊野駅」から徒歩約10分
●電車……とさでん交通「伊野電停」から徒歩約10分
●車……高知自動車道伊野ICから国道33号経由4km約10分

主催 土佐和紙国際化実行委員会、文化庁、厚生労働省、高知県、よさこい高知文化祭2026高知県実行委員会

後援 高知県教育委員会、土佐市、土佐市教育委員会、いの町、いの町教育委員会、高知県手すき和紙協同組合、高知版画協会、高知新聞社、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、高知ケーブルテレビ、エフエム高知、JR四国、(一社)高知県製紙工業会

協賛

NKK
ニッポン高度紙工業株式会社

JEANS FACTORY

廣瀬製紙株式会社
HIROSE

Hidakawashi
JAPANESE PAPER

四国銀行

高知新聞社

高知けいば
RUN FOR THE FAN AND FUN!!

(株)高知放送、伊野紙(株)、三和製紙(株)、ハヤシ商事(株)、
日本製紙パペリア(株)、河野製紙(株)、ダイレイ(株)



心踊る、文化咲く——
第41回 国民文化祭 第26回 全国障害者芸術・文化祭
よさこい高知文化祭2026
令和8年10月25日(日)~12月6日(日)

令和8年度 第76回 高知県芸術祭協賛行事

版画の世界、高知へ



〈第13回大賞〉Self-portrait L / Serena Pagnini

2026 **9.19^{SAT}** — **11.15^{SUN}**

会場 **いの町紙の博物館**



土佐和紙国際化実行委員会事務局 (いの町紙の博物館内)

〒781-2103 高知県吾川郡いの町幸町110-1
TEL.088-893-0886 FAX.088-893-0887
E-mail:tosawasi@bronze.ocn.ne.jp



ホームページ



Instagram

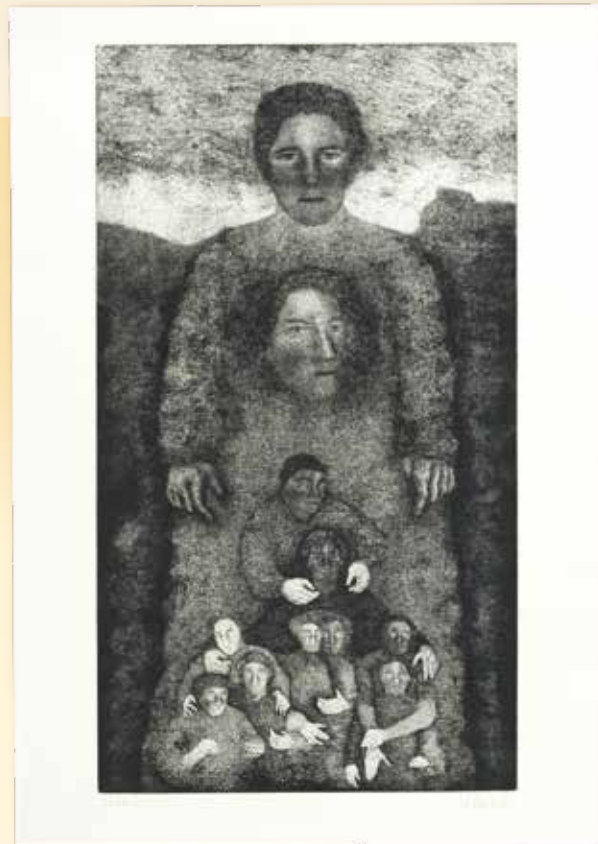
高知国際版画トリエンナーレ展

第13回 KOCHI INTERNATIONAL TRIENNIAL EXHIBITION OF PRINTS

第13回 高知国際版画トリエンナーレ展

世界中から選り抜かれた作品が、高知に集結。

1990年、高知県の和紙文化と版画文化の発展を願い誕生した「高知国際版画トリエンナーレ展」。34か国・地域から寄せられた975点の中から、厳正な審査を経て選ばれた約60点を展示。その中には、土佐和紙を用いた作品14点も含まれ、本展ならではの見どころとなっています。世界の作家たちが表現した豊かな感性と、紙の可能性をぜひ会場で体感ください。



【大賞】
Self-portrait I/Serena Pagnini (イタリア)

講評 力強い全体構図に線の繊細さなど手の加え方がとても丁寧で、呼び覚まされる記憶や人間関係におけるつながりの感触を巧みに表現した作品です。



【準大賞】
にじとり2/渡邊 加奈子 (日本)

講評 和紙ならではの色や木版の感触がやわらかくにじみ、黒を効果的に生かしたメリハリのある表現と微妙な色彩効果との対比が印象的な作品。繊細で鋭い感覚が随所に感じられる作品です。



【土佐和紙賞】
夜にこそ芽を出す(ひとりで)/平川 真里 (日本)

講評 モノクローム調の作品が圧倒的に多い中で、支持体が土佐和紙であればこそ、その豊かな色彩感覚と独特な表現がひととき目を引き、存在感のある作品です。



オープニングセレモニー

日時 9月19日(土) 12:30~13:30
場所 いの町紙の博物館 入り口前広場

12:30~ ● 子どもたちによる
歌・ダンスステージ
● 三味線パフォーマンス
● テープちぎり
● 紙風船飛ばし
13:30~ 審査員によるギャラリートーク
(場所:3階展示室)

関連企画・ワークショップ 参加無料

「樹脂板でモノプリント版画に挑戦！」

日時 10月12日(月・祝) 10:00~15:00
場所 1階ロビー / 申込不要

透明の樹脂板にインクを塗り、紙の裏から鉛筆で絵を描いてモノプリント版画に挑戦！白黒が反転したもう一つの作品もでき、1回で2つの作品づくりが楽しめます。



写真では見えない
繊細な表現をその目で。



【日和崎尊夫賞】
穏やかな日々のように/浅野 絵理 (日本)

講評 木版を彫る手の動きを繰り返すことで生まれた作品。一見、消えていくかのような繊細な表現でありながら、見れば見るほど面白さを感じさせる作品です。

土佐和紙とは

作品を支える一枚の和紙。
土佐和紙は約1,000年以上の歴史を持つ高知県の伝統工芸です。
長い歴史の中で磨かれてきた技術が生み出す品質は、版画をはじめとする多彩な創作活動を支えています。



こうぞ
楮

繊維が太く長く、強靱な紙となる。紙を十分に湿らせて何度も重ね刷りをして毛羽立ちや破れが生じにくく、木版画や大型作品によく用いられる。



みつまた
三桮

繊維が細く短く、なめらかなで光沢のある紙となる。版画の細い線や繊細なグラデーションの表現によく用いられる。



がんび
雁皮

繊維が細く均一で、特に薄く丈夫な和紙となる。半透明の美しい光沢をもち、木口木版など、複数回の摺りに耐える用紙が求められる技法によく用いられる。

和紙の購入・相談はこちら



いの町紙の博物館
販売コーナー
オンラインショップ



高知県手すき和紙協同組合
TEL.088-892-4170
E-mail/tosawasi@basil.ocn.ne.jp



土佐和紙振興会 わ紙。
TEL.090-4789-0843
E-mail/tosawashi.shinkou@gmail.com